

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	アルファ・ジャッカル	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.054	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：ALPHA JACKAL

フレアーの幅 インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2

比較対照ボール：JACKAL MAGIC

フレアーの幅 インチ

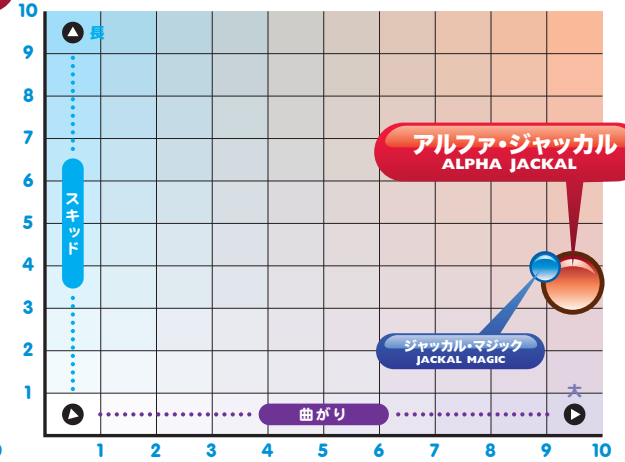
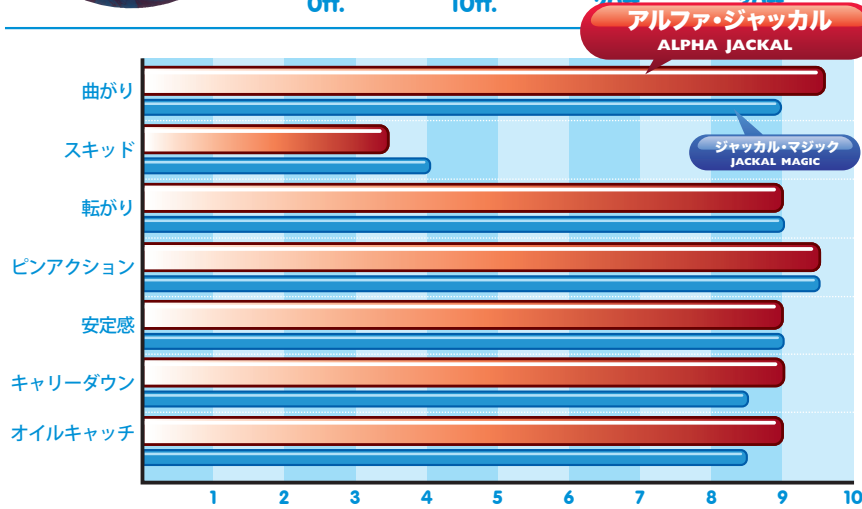
表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

PAPからピンとの距離 インチ

4-1/2



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

MOTIV社最強のオイルモンスターを呼称されたTRIDENT ABYSSと同等の強さを感じることで出来るオイルゾーンでのキャッチ感としっかりと止まる減速感。あとにも先にもCoercion HV3カバーストック使用を許されたのはTRIDENT ABYSSとこのALPHA JACKALだけです。それは絶対量のオイルに負けないキャッチの象徴でもあり、MOTIV社が最もオイルに対して強さを出せるスペックなのだと思います。お待ちせしましたジャッカルファン必見のALPHA JACKALをご紹介します。

やはりヘビーなオイルに対応するためのスペシャルなボールは、オイルを感じるコンディションで“曲がる”という安心感を実感できることに限りましょう。TRIDENT ABYSSはMOTIV社の中でも1・2を争うほどオイルに対して吸着感があり、かなり手前からキャッチが出る仕様ですが、奥でもしっかりと曲がるイメージの持てるボールで、個数限定もあり即日完売でした。

ALPHA JACKALもTRIDENT ABYSSもCoercion HV3 Turbulent 2000Grit LSS仕上げで、コアこそTurbulentとPredator V2の差はあれど、ほぼ“そのレベルのJACKAL仕様”ということが言えるのは確かです。JACKAL MAGICを投げていても違いを感じるの、やはり手前のキャッチ感が強めにしていること。

JACKAL MAGICがまだスキッドするところでもALPHA JACKALは嘯み上がるような気配が見えます。JACKALシリーズの良いところは、しっかりキャッチを出す傾向は変わりませんが、奥の動きを損なう設定にはなっていないことでしょう。

いつも関心しますが、これがMOTIV社の人気の理由でもあり、ケミカル担当者の最大の拘り。ALPHA JACKALもそれは表現されていて、ポケットヒットからもまだ左に曲がり続けるように見えます。

この仕様は間違いなく1強の仕上がりなので、みなさんが思っている以上にすぐに市場からなくなることが必至です。情報解禁とともに迷うことなくお近くのショップにオーダーをしてください。

特記事項

MOTIV社最強のカバーCoercion HV3で最強のJACKALの発売です。JACKALファンの方もそうでない方も、このボールは“買い”です！オーダーはお早めに